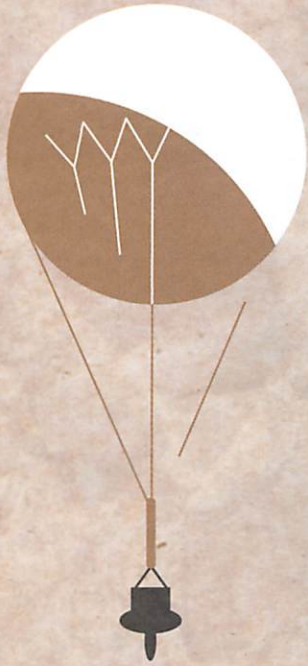


紙

と戦争

— 登戸研究所と風船爆弾・偽札 —





2014年11月19日[水] — 2015年3月21日[土・祝]

[開館時間] 10:00~16:00 [休館日] 日曜~火曜, 2014年12月25日~2015年1月6日, 17日, 2月5日, 7日 [入館料] 無料

明治大学平和教育登戸研究所資料館

The defunct Imperial Japanese Army Noborito Laboratory Museum for Education in Peace

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学生田キャンパス内 TEL/FAX044-934-7993

http://www.meiji.ac.jp/noborito/  https://www.facebook.com/Noboritoshiryokan  https://twitter.com/meiji_noborito

Facebook



Twitter

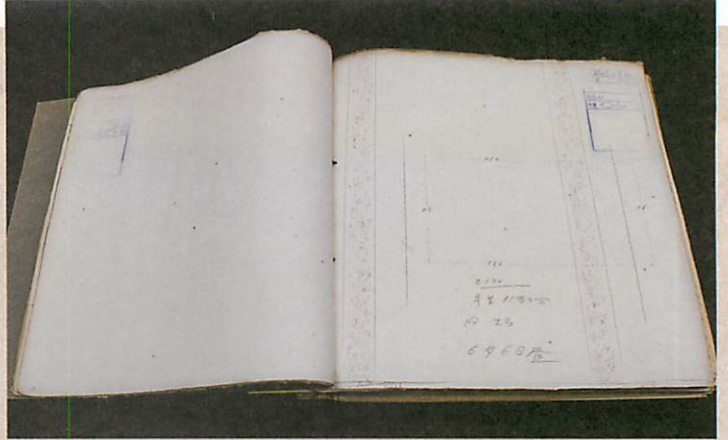


陸軍登戸研究所では、戦時中、紙を使った2種類の兵器の開発を行っていました。

一つは和紙を使った風船爆弾(ふ号兵器)、もう一つは偽札です。

風船爆弾(爆弾・焼夷弾を吊るした直径10mの水素気球)は、1944年11月以降、約9300発が放たれ、1000発以上が目標の北米大陸に到達したとされています。この気球本体は、和紙をコンニャク糊で貼り合せたもので、全国の和紙産地と女子労働力を大動員して生産されました。また、中国経済の攪乱を目的に1939年に参謀本部によって命じられた中国蒋介石政権の紙幣(法幣)の偽造には、当時の最高水準の紙漉き・透かし・印刷技術が用いられました。1942年以降、大量生産された偽造紙幣は当時の額面で40億円(1945年の日本の国家予算の5分の1相当)にのぼったとされています。

今回の企画展では、この紙を使った兵器に焦点をあて、当時の和紙・洋紙製造技術がどのようなもので、伝統的な和紙技術がどのように風船爆弾製造に利用されたのか、近代において発達した洋紙技術がどのように偽札製造に動員されたのかを、当時の貴重な現物展示をまじえて明らかにします。



「儲備券用紙[綴]」(株式会社巴川製紙所寄贈) 戦時中、陸軍より巴川製紙所へ開発依頼のあった試抄紙の綴り。背表紙には「儲備券用紙」とあるが、法幣の試抄紙と考えられる。



(右上)石灰蒸素法に関する文献(紙のまち資料館蔵)
(左上)風船爆弾のために漉かれた和紙(土川進子氏寄贈)
(左下)風船爆弾気球紙で作成された表彰状(鈴木和子氏寄贈)



(右)流し漉き(藤原製紙所協力)
(左)抄紙機(株式会社モリシカ協力)

関連イベント

[企画展記念講演会]

「紙と戦争—登戸研究所と風船爆弾・偽札—」

開催日: 2015年1月10日(土)
時間: 13:00 ~ 14:30
会場: 生田キャンパス中央校舎 6階メディアホール
定員: 280名(予約不要、当日先着順)
講師: 山田朗館長

[山田朗館長による企画展展示解説]

開催日: 2014年11月22日(土) 13:00, 15:00
11月23日(日) 10:00, 13:00, 15:00
2015年2月28日(土) 13:00
定員: 20名(お申込み順)
参加方法: 参加ご希望の方は開催日1週間前までに下記資料館連絡先にご希望日時・お名前・参加人数・電話番号・Email明記の上お申込み下さい(参加費無料)

[閉館5周年記念講演会]

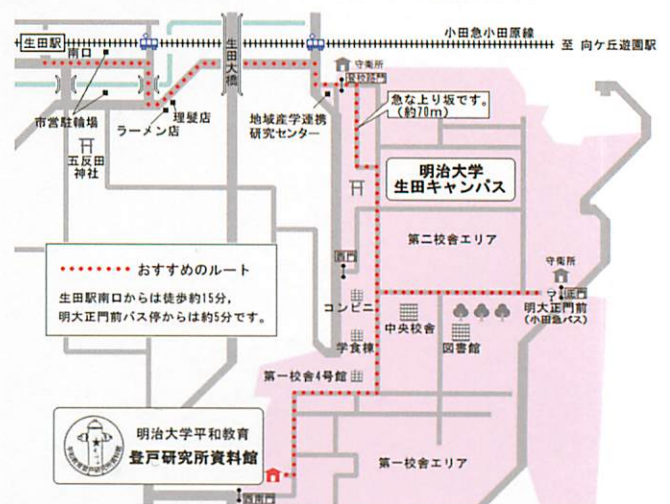
「紙と戦争—登戸研究所と風船爆弾・偽札—」展によせて〜秘密戦兵器研究における紙と製紙会社の果たした役割

開催日: 2015年3月21日(土・祝)
時間: 13:00 ~ 15:00
会場: 生田キャンパス(詳細は後日資料館HPに公開します)
講師: 小林良生(元通商産業省工業技術院四国工業技術研究所技術交流センター長、NPO法人機能紙研究会顧問)

定員: 250名(予約不要、当日先着順)
概要: 風船爆弾、偽造法幣の研究開発・生産は和紙生産者と製紙会社の協力を得て完成しました。これらの組織が風船爆弾・偽造法幣の研究課題にどう関わったのかを、和紙関係者及び製紙会社とともに機能紙研究を行ってきた小林氏が、紙の機能の視点から解明し、戦後どのように展開していったかを展望します。

[アクセス] 小田急線生田駅南口徒歩15分

向ヶ丘遊園駅北口より小田急バス「明治大学正門前」行終点下車



お問い合わせ

明治大学平和教育登戸研究所資料館

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス内
TEL&FAX:044-934-7993 Email:noborito@mics.meiji.ac.jp

★登戸研究所関連資料を収集していますので、些細な情報でもお知らせください